

○しろばなふじあざみ

富士ノ龍坂峠ハふじあざみノ名所デアル。昭和十年十月ノ半バ、牧野先生ノ驥尾ニ附シテ山中湖畔カラ須走ヘトコノ峠ヲ越エタ。時恰モ落葉松ガ漸ク黄バミカケタ頃、満目フじあざみノ大群トイツテモヨイ程ニアノ重タゲナ紅紫ノ頭花ガエレテ居タ。ソノ中デタツターケ所ニ數本ノ白花品ガアツタノヲ牧野先生ガ見付ケ出サレタ。常ノ品ト違ツテ花ハ純白、總苞片ハ云フニ及バズ花軸モ枝モ紫色ハ微塵モナイ。シバラクウツトリト朧メテ居タ位清楚ナモノデアツタ。標本ニナツテモラウ前ニ紀念撮影ヲシタノガコゝニ出シタ寫眞デアル。高サハ1m.位デアツタ。コレニツイテハ北村四郎氏ガ既ニ昭和六年ニ駿河國安倍郡梅ヶ島村ノ産品デ發表シテ居ル。花ガ白イトダケアルノデホンノ一寸蛇足ヲ添ヘル。(前川文夫)



Cirsium purpuratum MATSUMURA var. *albiflorum* KITAMURA, Compositae Novae Japonicae: 12 (1931, Kyoto).

“Flores albi.” Involuceri squamæ ramique dilute virides nunquam purpurei, “cetera ut in typico.”

Hab. Hondo, prov. Suruga, Umegashima-mura (fide KITAMURA), prov Kai, tractu Kagosaka (MAKINO et F. MAEKAWA, Oct. 15, 1935). (F. MAEKAWA).

○からふといはひげ

最近中路正義氏が樺太ノ九州帝大演習林カラいはひげノ一種ヲ持チ 歸ヘラレタ。故工藤祐舜博士ガ同演習林植物目録ニ *Cassiope tetragona* D. DON ヲ記サレテキルノデ同種カト思ツタガ、調べテミルト *Cassiope ericoides* D. DON デアツタ。いはひげヨリズット太ク、

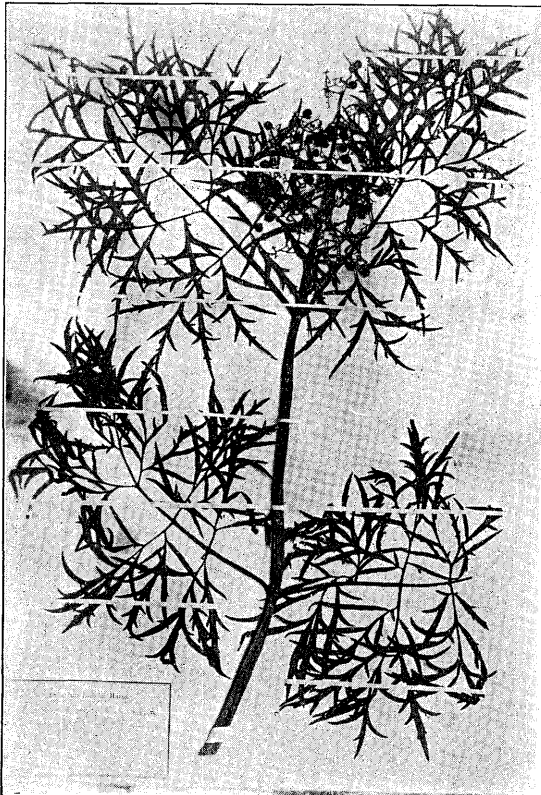
葉ハ稍疎ニ着キ大キク、長サ (2-3-5 mm. 背面ニ深イ一條ノ溝ガアリ、縁部ニハ淡褐色ノ
 纖毛ガ列生シテキル。残念ナガラ花ハナカツタガ、去年ノ果實ガ殘ツテキテ、果梗ハ長サ
 7-12 mm. アツタ。西ハばいかる地方カラ東ハおほつく・うすりー地方ニ分布シテキル種類
 デ、かむちやつか半島ニモ記録ハアルガ誤リラシイ。工藤博士ガ *C. tetragona* トサレタモ
 ノモ同一ト思フノデ、樺太廳中央試験所報告第一類第一號デ石山哲爾氏ノツケラレタ から
 ふといハひげヲ和名トシテ採用シテオク。 (原 寛)

Cassiope ericoides D. DON in New Philos. Journ. XVII, p. 158 (1834).

Syn. *Andromeda ericoides* PALLAS, Fl. Ross. II, p. 56, t. 73, fig. 3 (1788).

Nom. Jap. *Karafuto-iwähige*.

Hab. Saghalien: in Experimental Forest of Kyushu Imperial University.
 (H. HARA)



はごろもえぞにはとこ

○はごろもえぞにはとこ

(*Sambucus Buergeriana*

BLUME var. *lacera* NAKAI)

1891 年故 FAURIE 師ガ北海道
 札幌附近デ發見シテ以來久シク
 採集家ノ目ヲ逃レテキタガ數年
 前王子製紙會社山林部ノ富本豐
 氏ニヨツテ膽振國、白老郡、敷
 生村ノ社有林内デ見出サレタ。
 細カク切レタ葉ハ、ソノ帶黃白
 色ノ花或ハ紅色ノ果實ト相俟ツ
 テ頗ル美事デアル。現在デハ虎
 杖濱ヘ移植サレ大切ニ保護サレ
 テキル。 (原 寛)

○さはをぐる

飯沼慾齋翁ハ草本圖說ニさは
 をぐるまトをかをぐるまヲ區別
 シテ圖解シタガ、牧野博士ガコ
 ノ兩者ヲ同一デアルトサレテカ
 ラハズツトソノ様ニ考ヘラレテ
 キタ。併シ最近筆者ハコノ兩形
 ガ可成リ異ツテキル事ニ注意ヲ
 惹カサレタ。さはをぐるまノ基
 本形ハをかをぐるまニ比シ水分

多イ所ニ生エ全形壯大デ葉ハ細長ク、莖上葉ハ數多ク、花ノ數モ多ク、總苞ノ綿毛ハ少イ。